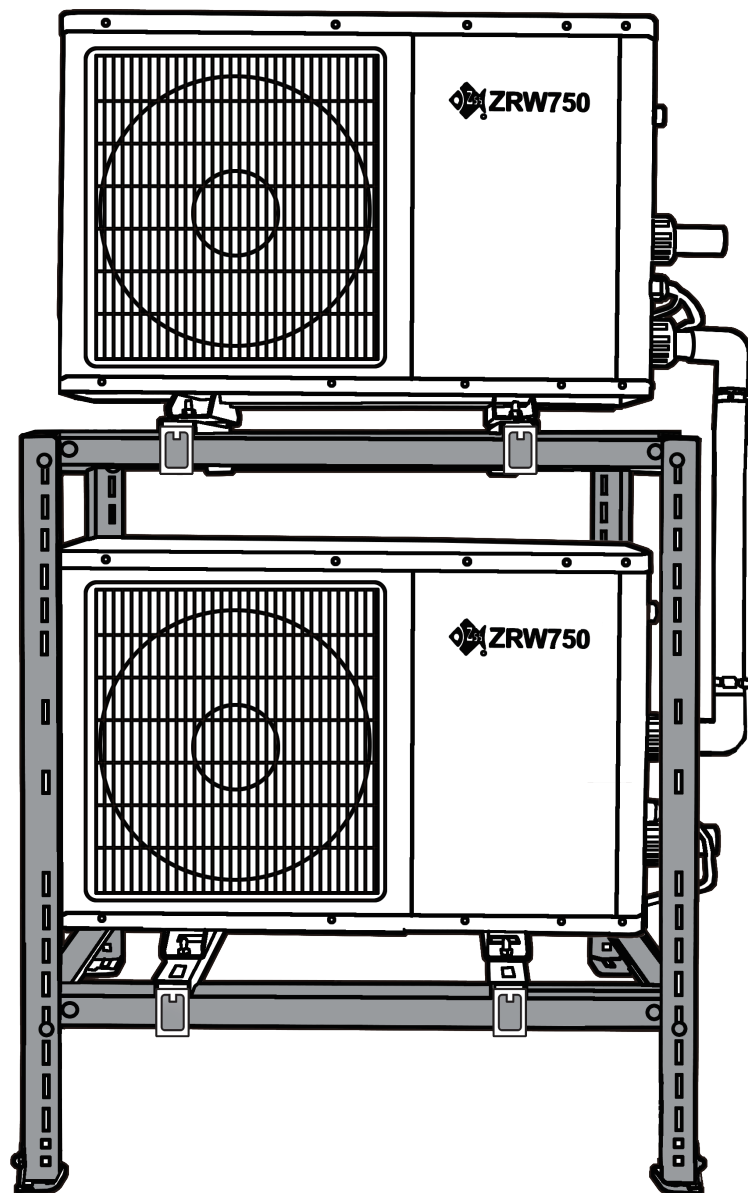


ZRW-1500



取扱説明書

安全にお使いいただくために

この度はゼンスイクーラーZRW-1500をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いいただく前に、この説明書をよくお読みください。また必ず保管し、必要な時にお読みください。

この取扱説明書では本製品を安全にご使用いただくために様々な記号表示を使用しています。その記号を無視し誤った取扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しております。内容をよく理解してから本文をお読みください。



取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

濡れた手で電源プラグ・電気部品等に触れないでください。感電等の原因になります。



煙・異臭・異音を見つけたら、直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。



吸気・排気口をふさいだり、埃等が詰まったまま使用しないでください。冷却不良・作動異常のほか火災等の事故原因となります。



電源は指定の電圧以外は使用しないでください。漏電・感電に加え爆発等の原因にもなり、危険です。



通電状態の本体・コントローラーに水をかけたり洗ったりしないでください。漏電・感電の原因になります。



分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。



アース工事を行ってください。アース工事がされていないと漏電による感電のおそれがあります。



電気工事業者によるD種接地工事を確実に行ってください

電源コードを引っばったり束ねたり、重いものを乗せたり、無理に曲げたりしないでください。感電・火災の原因になります。



取扱いを誤った場合、人が怪我をしたり、物的損害を受ける恐れがある内容を示しています。

専用の電源、漏電遮断器をご準備ください。タコ足配線は火災の原因になります。



湿気の多い場所や高温になる場所に設置しないでください。火災・故障の原因になります。



じゅうたん・カーペット・畳の上に直接設置しないでください。敷物の変色・火災の原因になります。



水平でない場所や、振動の激しい場所には置かないでください。故障の原因になります。



設置は専門業者に依頼してください。



ご使用の前に

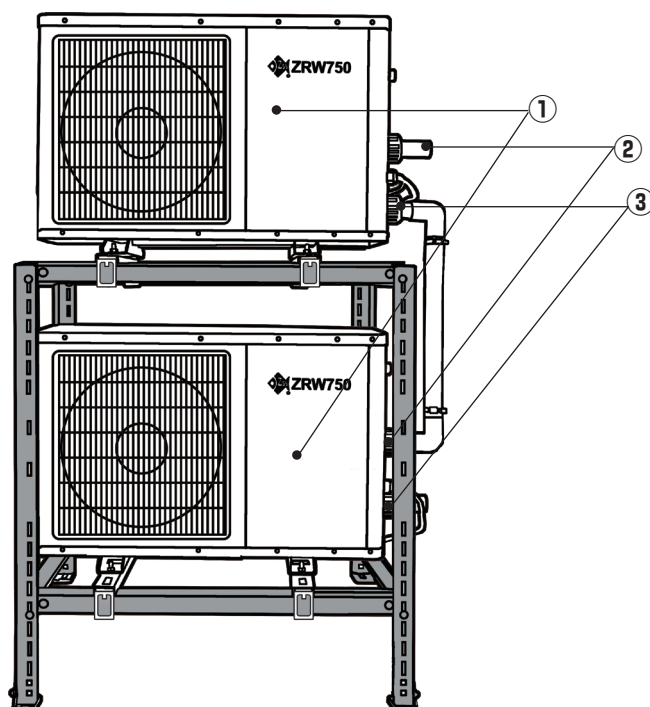
- 商品開封後、本体の破損の有無、付属品が全て揃っているかをご確認ください。
- 本製品には水の循環ポンプは内蔵されておりません、別途お買い求めください。
- 循環ポンプは、毎分50～80ℓの能力を持ったものをご使用ください。
- クーラーは水平な場所に設置してください。
- ホコリ・湿気・油気が多い場所での使用は、故障やトラッキングによる火災の原因にもなりますのでご注意ください。
- 設置前に使用する電源の容量を確認してください。電圧の不足は冷却能力の低下を招きます。
また、著しく電圧が低くなるとコンプレッサーが起動せず冷却が出来なくなります。
- クーラーの運転開始後、必ず漏水の有無や水温の下がり具合を確認してください。
- 電源は本機専用のものをご用ください。
- 異常発生時には必ずコントローラーの電源スイッチおよび制御盤内ブレーカーをOFFにし、一次側漏電遮断器を切断の上、販売店にご連絡ください。
- 火気の近くに設置、又は使用しないで下さい。また、可燃性スプレーや揮発性・引火性の強いものを近くに置いたり使用したりしないでください。
火災等の原因となります。
- 本体の上に重いものや水を入れた容器等を置かないでください。破損等の原因となります。
- 1週間以上使用しない場合はコントローラーの電源スイッチおよび制御盤内ブレーカーをOFFにし本体電源ケーブルを外しておく様にしてください。
- 掃除、点検をする場合は、必ずコントローラーの電源スイッチおよび制御盤内ブレーカーをOFFにし本体電源ケーブルを外した上で行ってください。
- 本品は本体背面が吸気口になっています。冷却不良や本体故障の原因となりますのでご使用の際は必ず壁より20cm以上離して設置してください。
- 本体の前には物を置かないでください。排気不良が起きると故障等の原因となります。
- 掃除等で通水用ポンプを止める場合は内蔵タンクの凍結や破損、水漏れ防止のため、必ずコントローラーの電源スイッチおよび制御盤内ブレーカーをOFFにし5分以上通水の後、ポンプの停止を行ってください。
- その他ご不明な点は、お買い求めの販売店にお問合せください。

仕様

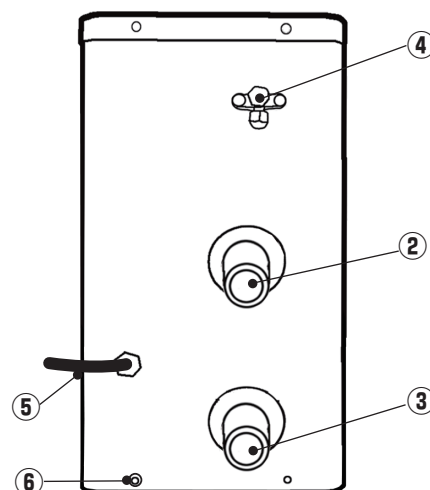
商 品 名	ZRW-1500	循 環 水 量	50~80 ℓ /min
電 源	三相 AC200V 50/60Hz	接 続 配 管 径	25A
コンプレッサー出力	750W×2	運 転 騒 音 値	66db
ファンモーター出力	20W×2	外 形 寸 法 (単位 /mm)	W910×D433×H1450~1215 (高さ可変) ※Wは接続ホース部分含む
消費電力	1620/1740W	コントローラー	ZS-222 (200V用)
冷却能力 (外気温度=30℃時)	4000/4200kcal/h	漏電遮断器容量	15A
使用冷媒 (内容量)	R410A (500g /台)	重 量	76kg

各部名称

【正面】



【側面】

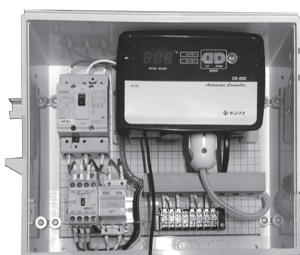


- ① 本体
- ② 水出口 (OUTLET)
- ③ 水入口 (INLET)
- ④ サービスバルブ
- ⑤ 電源コード
- ⑥ アース端子

付属部品

◆専用制御盤 ×1台 ZS-222コントローラー内蔵

製造時期により
右写真と実機内部の部品が
異なる場合がございますが
動作や作業内容に
相違ございません



◆ユニオン ×4個



◆ユニオンソケット (25A) ×4個



◆ホース×1本

◆L字ソケット×2個



◆ホースバンド ×2個

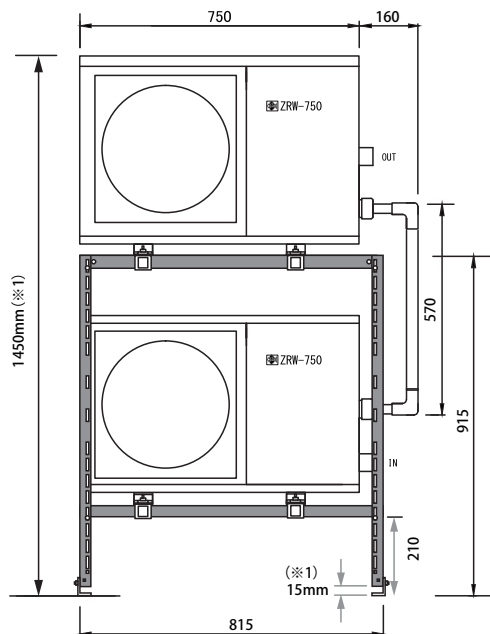


◆ゴムパッキン ×4個 ●予備×4個

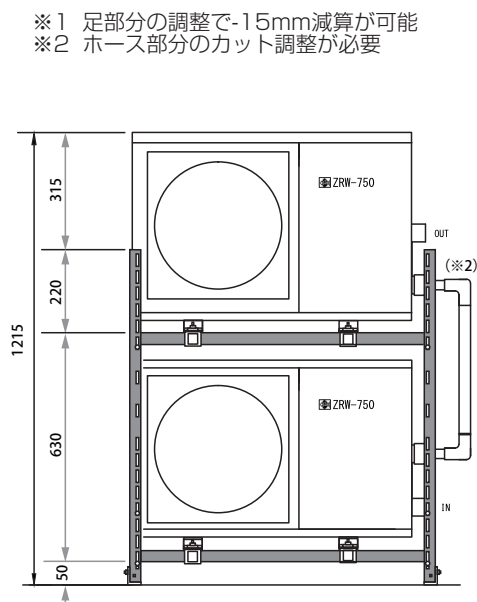
架台の組み立て方

クーラー「ZRW-750」を乗せるベース上下段の高さは下図の「基本高さ」(製品全高1450mm)となる位置を標準とさせていただきます。ベース上下段の高さを調整し、2台の「ZRW-750」を連結する「上下接続ホース」を短く加工し、「最低高さ」(製品全高1215mm)まで低く組み上げる事も可能です。

基本高さ



最低高さ



※1 足部分の調整で-15mm減算が可能
※2 ホース部分のカット調整が必要

架台部品

①キャク組(1),(2)	各2組	④ベース	4本	⑦引留ステー	2本
②タテフレーム	4本	⑤トメカナグ	4個	⑧ 角根ボルトM8×18 ナットM8	26組
③ヨコフレーム	4本	⑥絶縁ワッシャ組	8組	⑨ コーチボルトφ6×50 ワッシャ	2組

- “タテフレーム” の上下を間違いやすいためご注意ください。
- 組み立て方は2種類ありますが、どちらの方法で組み立てを行っても問題ありません。
- 金具を据え付け後、下記の警告表示内容をご確認ください。
- この金具を分解、廃棄処分する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。



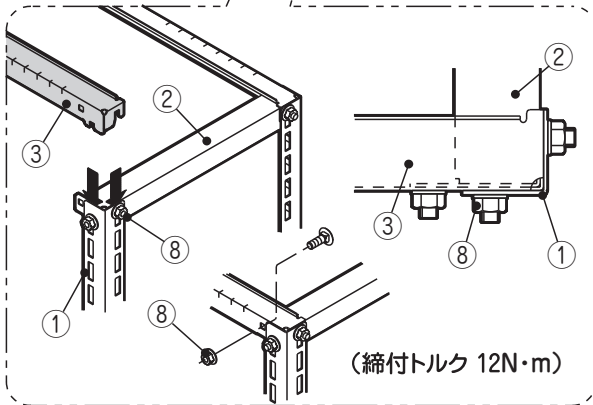
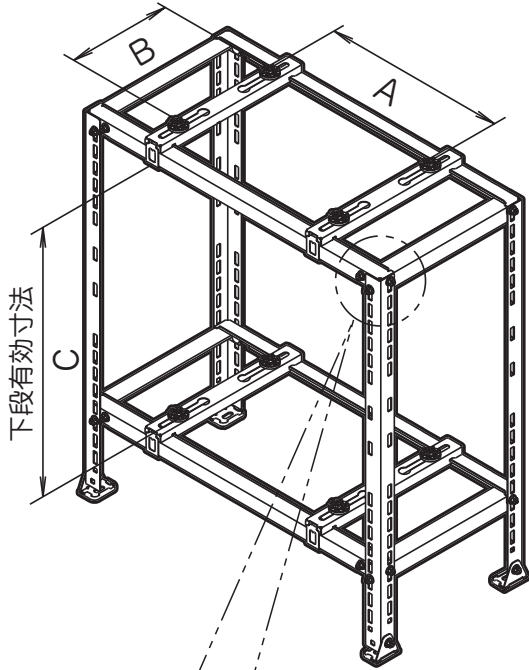
警告

- 絶対に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。壊れる恐れがあります。
- 改造しないでください。強度が不足したり、寿命が短くなります。
- ネジは確実に締めてください。締め忘れると分解する恐れがあります。
- 製品のカドは、手を切る恐れがあります。お子様にもお教えください。

組み立て方 ① はさみ込み方式

1.

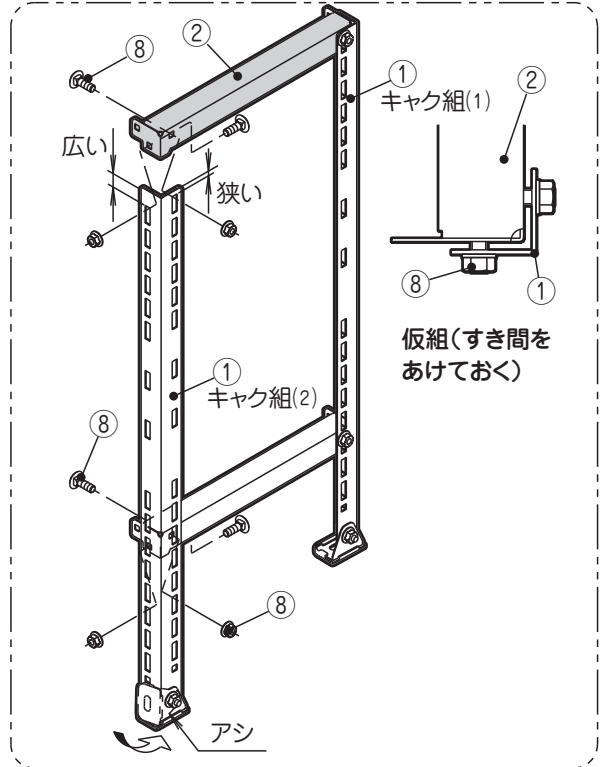
①キャク組のアシを回転させた後②タテフレームを①キャク組の上下に⑧角根ボルト・ナットで仮組します。①キャク組には左右があります。右図のように端から角孔までが広いほうを正面に組み立ててください。



3.

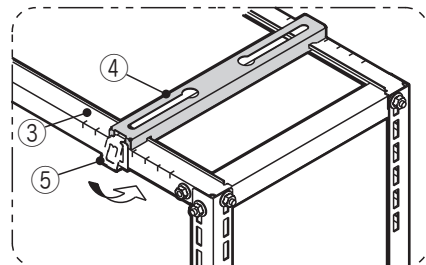
③ヨコフレームの寸法目盛を目安に④ベースを一方の
③ヨコフレームに引っ掛けてから、反対側を⑤トメカ
ナグで取り付けます。

※④ベースがずれる場合は⑤トメカナグの上から奥行方向にハンマーなどで軽くたたってください。



2.

①キャク組と②タテフレームのすき間に③ヨコフレームをはさみ⑧ナットを締めます。③ヨコフレーム正面の角孔に⑧角根ボルト・ナットで固定します。

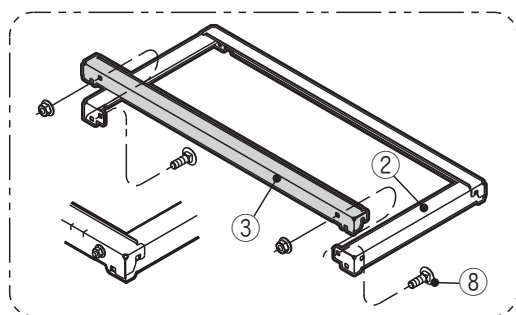


各部寸法(mm)及び水切勾配

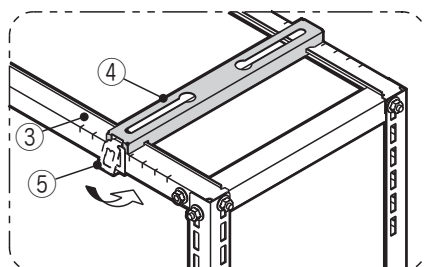
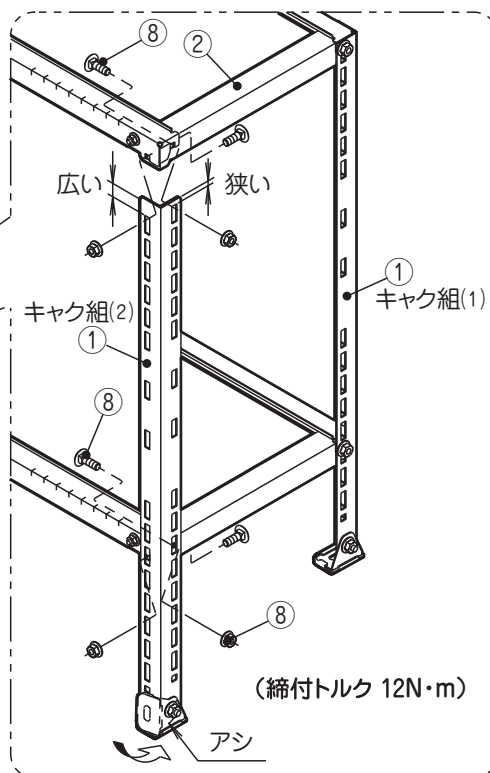
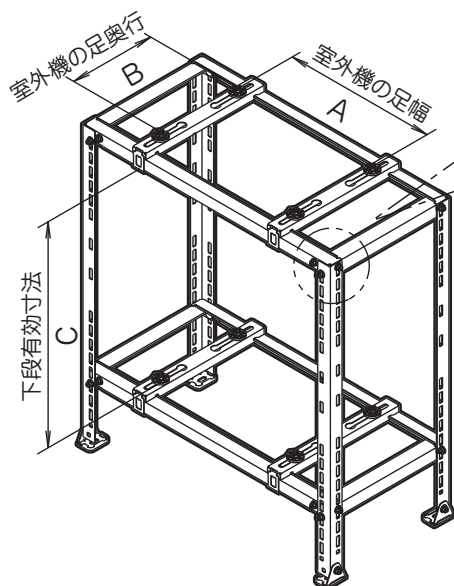
	A	B	C	水切勾配
寸法	300~650	160~340	427~747	0°~33° (水平~6.5/10)

組み立て方 ② 枠組み方式

1. ③ヨコフレームと②タテフレームを⑧角根ボルト・ナットで仮組します。この枠組みを2組組み立てます。



2. ①キャク組のアシを回転させた後仮組した枠組みに⑧角根ボルト・ナットで固定します。①キャク組には左右があります。下図のように端から角孔までが広いほうを正面に組み立ててください。



3. ③ヨコフレームの寸法目盛を目安に④ベースを一方の③ヨコフレームに引っ掛けてから、反対側を⑤トメカナグで取り付けます。

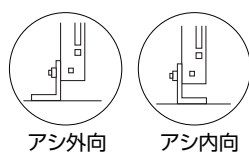
※④ベースがずれる場合は⑤トメカナグの上から奥行方向にハンマーなどで軽くたたいてください。

架台の固定

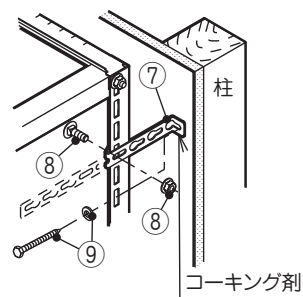
壁面の柱などから架台の上部左右を⑦引留ステー ⑧角根ボルト・ナット ⑨コーチボルト・ワッシャで固定してください。

※⑦引留ステーは長い場合、折り曲げてください。
※⑨コーチボルトは柱などのしっかりした建造物に固定します。

アンカー位置



市販のアンカーボルトでとめる場合、左図の寸法で固定してください。

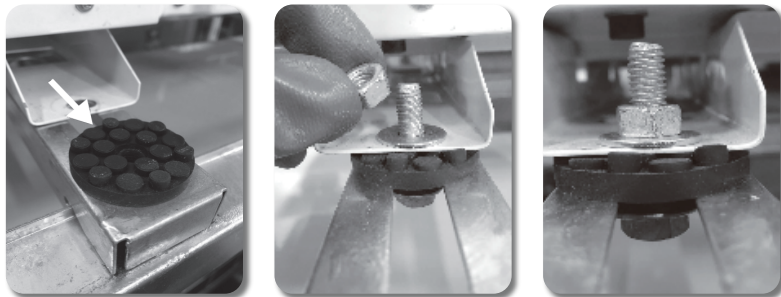


2台のZRW-750を架台に取付け

① 組み上げた架台にZRW-750を1台ずつ取付けます。架台に付属している部品を使用し、架台とZRW-750を連結します。

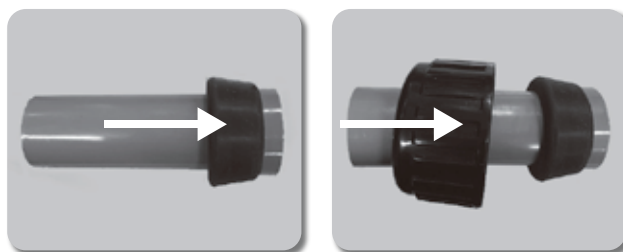
※ZRW-750を持ち上げる際、INLET/OUTLET配管を持たず、必ず取手と本体底面で持ち上げてください。

- ・ゴムブッシュは、ベース穴を通してスライドさせ位置調整を行ってください。
- ・ゴムブッシュにボルト、ワッシャーを通し、ナットで固定してください。上下段のZRW-750、計8カ所で行ってください。



配管の取付け

① 同梱の「ユニオンソケット(25A)」に、ゴムパッキンを通します。ユニオンソケット先端のフランジ状になっている方向がZRW-750側となります。ゴムパッキンは先細りになっている方向からユニオンソケットに通し、フランジ部に接触するまで押し込んでください。続いて、ユニオンを通してください。同じ物を計4個組み立ててください。

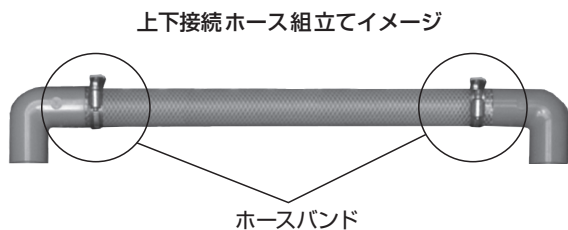


② 上下段、計4カ所の「INLET」および「OUTLET」に①で作成したユニオンソケット一式を取付けてください。それぞれユニオンを回し、締付けて固定してください。

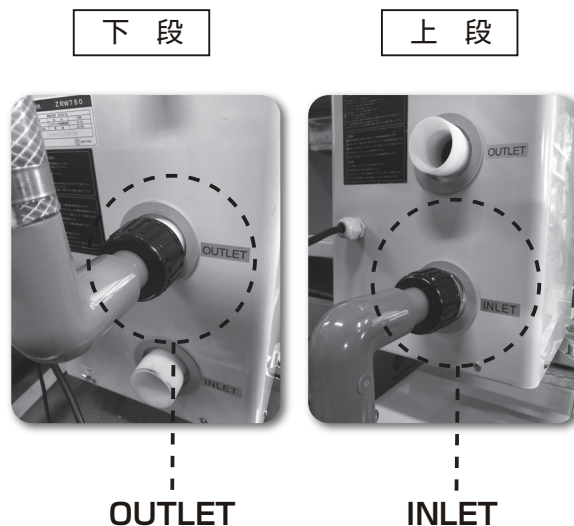
※ユニオンは締め過ぎないようにご注意ください。

**ユニオンの締付けには
工具を使用しないでください**

③ 下図を参考に「上下接続ホース」を組み立て上下段のZRW-750を「上下接続ホース」で連結してください。
下段の「OUTLET」と上段の「INLET」を接続します。



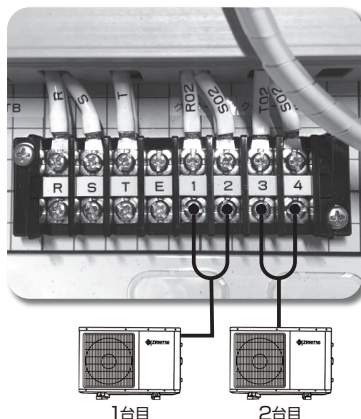
※全高1450mmより低く組み上げた場合は、ホースを適切な長さにカットしホースバンドで固定してください。



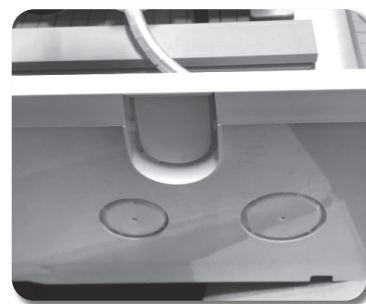
配線作業をする際は制御盤のスイッチをOFFにし、一次側漏電遮断器を切断してから行ってください

- ①上下段のZRW-750を、制御盤と結線します。
制御盤ケースを開け、下部の端子台をご確認ください。端子台下部のケースに穴を開けます。こちらの穴よりZRW-750×2台分の電源ケーブルを通してください。端子番号 1 および 2 に、1 台目のZRW-750を結線、端子番号 3 および 4 に、2 台目のZRW-750を結線してください。(極性はありません)

※上下段のどちらを1台目、2台目として端子台に結線しても問題ありません。



- ②三相200V電源ケーブルを結線します。ケース下部に穴を開け、そちらの穴から電源ケーブルを通します。左側端子台のR・S・Tに三相200V電源ケーブルを結線してください。



水温センサー

- ③ケースの任意の場所に穴を開け、制御盤内部のセンサーケーブルを通してください。水温センサーを水槽、もしくは濾過槽に入れます。

※水温制御誤作動、製品故障の原因となりますのでセンサーは必ず常時水没する様、設置してください。

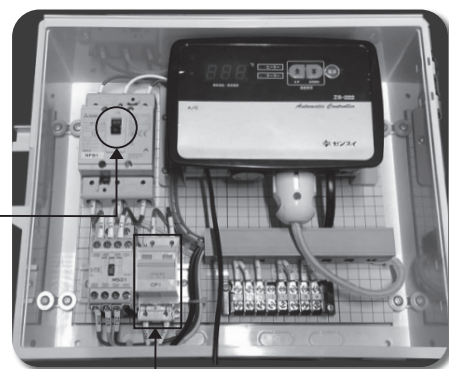
- ④下段ZRW-750の「INLET」および上段の「OUTLET」に循環水用の配管を接続してください。配管後、ポンプを起動させ本製品を通して水が循環している事をご確認ください。

※本製品には水の循環機能はありません。別途循環ポンプを接続してください。
※設置頂く循環ポンプは毎分50～80ℓの循環能力を持ったモデルをお選びください。

- ⑤制御盤内部のブレーカー、サーキットブレーカーをONにします。「ZS-222」コントローラーの電源が入り、デジタルパネルに現在水温が表示される事をご確認ください。電源が入らない場合、「ZS-222」コントローラーの電源ボタンを押下し、再度デジタルパネルに現在水温が表示される事をご確認ください。

※初回起動時や長期間通電していなかった場合等、電源ボタンを押しても反応が無い場合があります。その際は10秒程待って再度電源ボタンを押してください。

製造時期により右写真と実機内部の部品が異なる場合がございますが動作や作業内容に相違ございません



ブレーカー
スイッチ

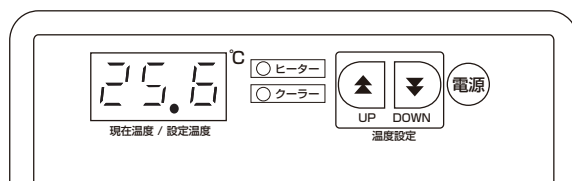
サーキット
ブレーカー



冷却中は必ず水を循環させてください
止水状態で冷却を行うと冷却不良や本体故障の原因となります

コントローラーの操作

コントロールパネル部



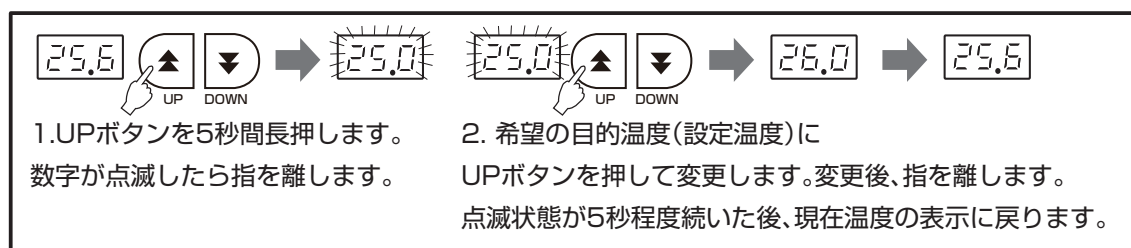
【設定温度確認】

現在設定されている温度を確認したい場合【UP】または【DOWN】のボタンを押すと温度表示パネルに現在の設定温度が表示されます。
※初期設定25℃

【温度設定】

UPまたはDOWNボタンを約5秒間長押しすると設定温度が点滅します。一度ボタンから手を離し、表示が点滅している間に【UP】または【DOWN】ボタンで設定したい温度に変更します。点滅が終わると現在温度に表示が変わり設定完了です。

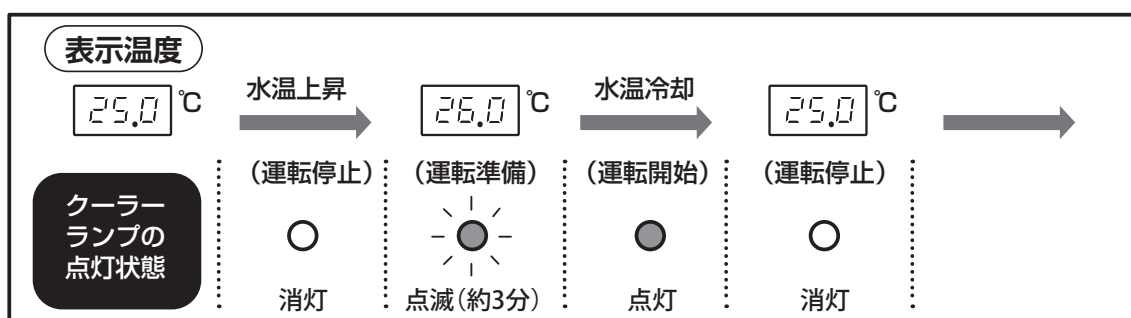
例：設定温度25℃から26℃に変更した場合。



【稼働コントロール】

クーラー稼働は設定温度に対し±約1.0℃の温度差でコントロールします。

例：設定温度25℃の場合



クーラーは設定温度に対して水温が1℃上昇するまで運転を停止しています。この場合、水温が26.0℃に達すると、クーラーランプが点滅(運転準備、約3分)の後ランプが点灯に変わり運転が開始されます。水温が設定温度の25℃まで冷却されるとランプが消灯し、運転が停止します。

※温度は0.1℃刻みで設定が可能です。

※温度センサーの位置や、ポンプの大きさ(流量)によっては水槽内の水温と多少の誤差が出る場合があります。

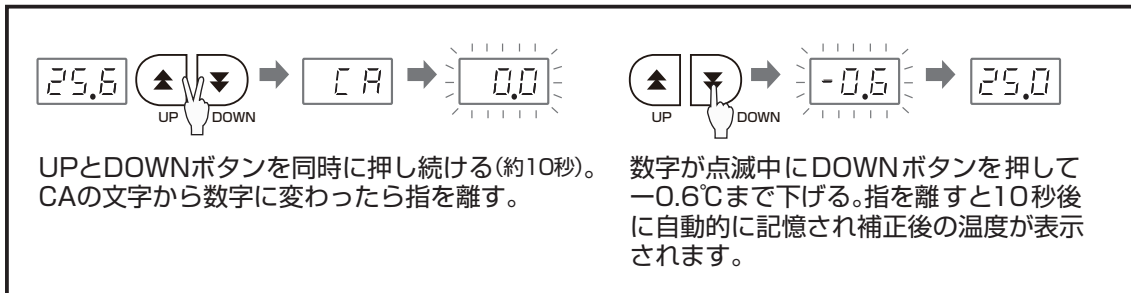
【温度センサーの補正】

現在表示温度の誤差補正方法

※温度設定とは異なります。

コントローラーの温度表示とお手持ちの水温計の温度に差があり、誤差補正をおこなう場合は下記の例のように操作してください。

例：水温計は25.0℃なのにコントローラー現在温度表示が25.6℃の場合



【運転時のご注意】

- 運転中は本体を移動させたり、動かしたりしないで下さい。
- 本体に水がかからないように注意して下さい。
- 熱や湿気がこもる場所での使用はしないで下さい。
- 生体等を入れる場合は、水温が適温になったのを確認してから入れて下さい。
- 水槽の周囲温度が高い場合、水槽等に水滴が付きます。こまめに拭き取るようにして下さい。

【長時間で使用にならない場合】

- コントローラーの電源プラグを抜いて下さい。
- コンセントに接続されたクーラーの電源プラグを抜いて下さい。
- 保管場所は直射日光や高温多湿を避け、温度の変化が少ない場所に保管して下さい。

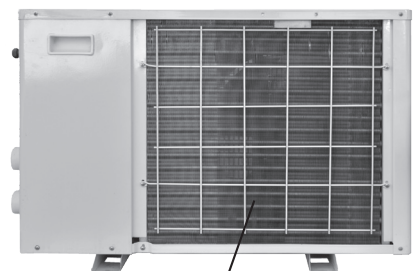
メンテナンス

月に一度はクーラー本体背面、コンデンサーフィンのゴミ・ホコリ詰りを確認してください。詰りが確認されたら、ブロアやエアコンプレッサー等で吹き飛ばし取り除いてください。コンデンサーフィンの詰りは、冷却不良を引き起こすだけではなく機器の故障・破損の原因となります。



お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください

ホース継手に付属しているパッキンは消耗品のため定期的な確認と交換を忘れずに行ってください

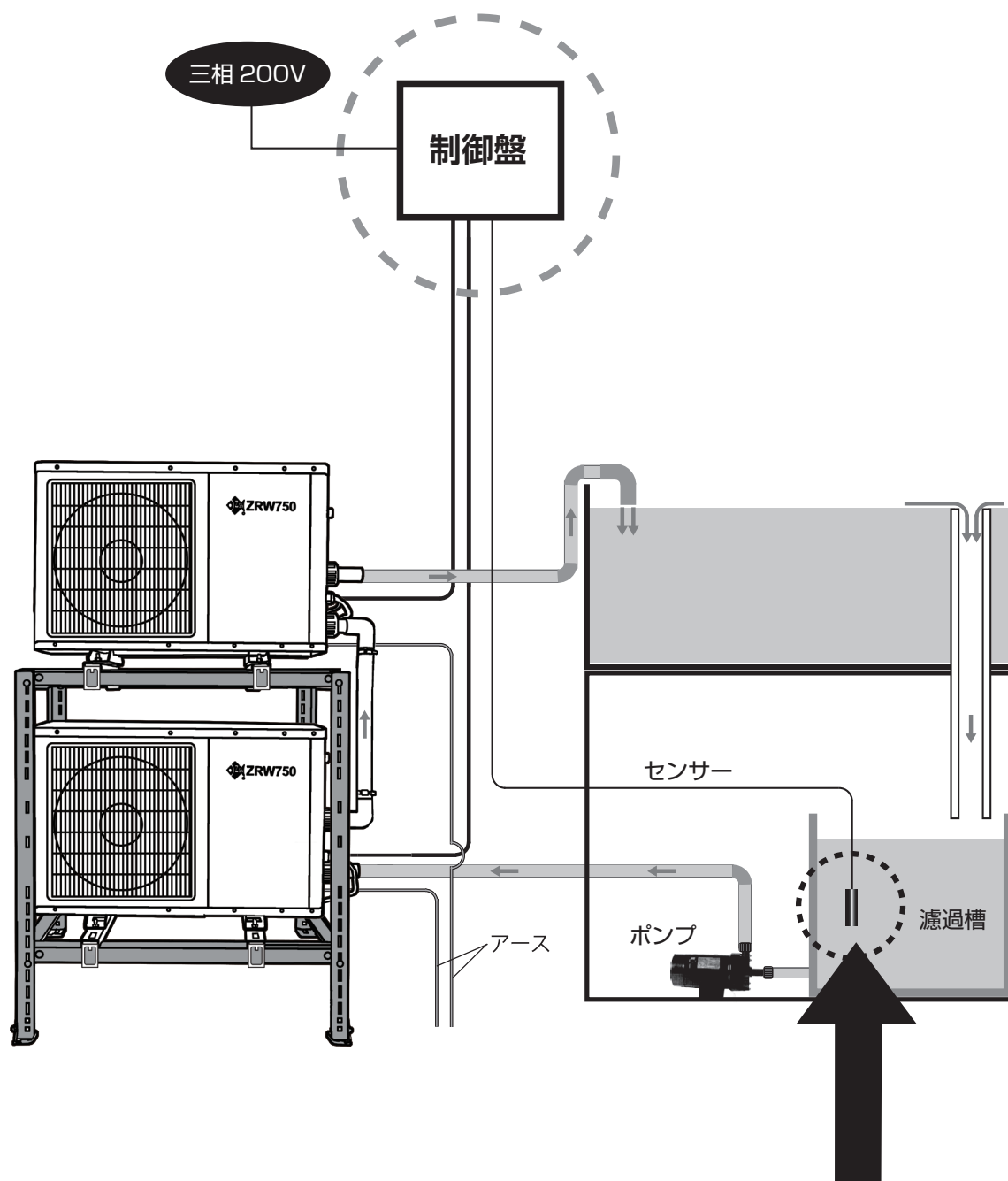


コンデンサーフィン

廃棄について

本製品は家庭用ゴミとして廃棄することはできません。各自治体のゴミ収集センターへご相談ください。また弊社でも有償にて廃棄を承っております。

※制御盤は雨のかからない場所、及び水槽より高い位置でセットしてください。



**センサーは必ず常時水没する様
設置してください**

特にオーバーフロー水槽の濾過槽に入れる場合、濾過槽の水が自然蒸発して水位が下がりセンサーが空気中に露出しないよう十分ご注意ください

保証書

商品名	ゼンスイクーラー ZRW-1500
購入日	年 月 日
保証期間	お買い上げから1年間
お客様名	様
販売店	

保証規定

- 取扱説明書に明示されている正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は、無料で修理致します。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。また修理に関しては本証をご提示願います。
※必ず下記、AまたはBの書類をご用意ください。
A. お買い上げ日、販売店名の記入がある保証書 B. 領収書等お買い上げ日と販売店名が確認できる資料と保証書
- メーカーからの出張修理、交換等は一切致しておりません。アフターサービス等ご不明な点は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 次のような場合は、保証期間中にかかわらず有償修理となります。
 - ご使用上の誤りによる故障の場合
 - お買い上げ後の落下、輸送上の故障及び損傷の場合
 - 商品を改造・改ざんされてのご使用の場合
 - 火災・天災等、不可抗力による故障の場合
 - 本証のご提示のない場合
 - 本証の所定事項に記入のない場合、また記入事項の改ざんが認められる場合
- 本証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only japan.
- 製品の故障・不具合による生体の死亡・水草などの枯れに対する保証は、初期不良の場合を含め応じかねます。予めご了承ください。
- 製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。



ゼンスイ 株式会社

<https://www.zensui.co.jp/>

■本社 〒566-0052 大阪府摂津市鳥飼本町 5-1-16 TEL: 072-654-3743 FAX: 072-654-3753
■関東営業所 〒345-0036 埼玉県北葛飾郡江戸町杉戸 1-9-20 TEL: 0480-33-2058 FAX: 0480-33-2059